

聖フランシスコ子供寮は昭和8年(1933年)鹿児島で、肉親を失った子ども達を育てたことから始まり、児童福祉法による児童養護施設として今日に至っています。入所理由は、その時代によりさまざまですが、入所児童は社会の影の部分を負わされた子ども達です。

入所児童は18歳(高校卒業時)になると、施設を出て行かなければなりません。一步社会に出た時から、自分の力で生活をして行かなければならず、人間関係や会社の倒産、健康状態などの理由で、生活ができなくなることもあります。

生活や仕事に行き詰まった時に、帰るところがあると、また生活を立て直すことができます。いただいた命を大切に、自分の人生を生きることができるようと願って1997年に自立援助事業を立ち上げ、2008年に男女自立の家を開設しました。その対象は、聖フランシスコ子供寮退所児童です。そのため補助金の無い運営で、寄付金のみで運営されています。

主な経費は、学費・食事代・遠隔地大学生の家賃などで、年間約1000万円前後になります。今後も自立援助事業の運営を安定させるために、ぜひ皆さまからのご支援をお願い申し上げます。

## ご支援下さる方へ

◎ご寄付は、税制上の優遇措置を受けることができ、所得税の寄付金控除または税額控除の対象となります。

※ご寄付は右記口座にお振込み頂けます。

- ◆ 郵便振替口座  
00160-7-113941  
加入者名 社会福祉法人お告げのフランシスコ姉妹会
- ◆ 銀行口座  
みずほ銀行 久が原支店  
普通預金 1187838  
口座名 社会福祉法人お告げのフランシスコ姉妹会

※ゆうちょ銀行の払込取扱票をご使用にならない場合は、寄付申込書をお送りしますので、聖フランシスコ子供寮まで、お電話、FAXまたはメールにてご連絡ください。どちらも、後ほど税額控除の領収書をお送りします。

Tel. 03-3753-6768 Fax. 03-3753-9756 E-mail: fsa\_kodomoryou@kuh.biglobe.ne.jp

〒146-0085 東京都大田区久が原4-2-1 社会福祉法人お告げのフランシスコ姉妹会



聖フランシスコ子供寮  
自立援助事業

## エリザベト寮 / 女子自立の家



小聖堂もある暖かい団らんの家!



### 聖堂 / 修道院

食堂・調理室 個室9室  
ソーラーシステム  
ビオトープ 屋上緑化  
雨水利用



聖堂

## ヨゼフ寮 / 男子自立の家



卒業生も集まってくる元気いっぱいの家!



食堂・調理室 個室9室  
管理人室1室  
ソーラーシステム  
雨水利用



Peco

## 沿革

聖フランシスコ子供寮は、次の様な経緯をたどり今日に至っております。

- ・1933年(昭和8年)鹿児島市にてフランシスコ会宣教師ガブリエル神父により「ナザレトの家」として創設
- ・1938年5月 東京都大田区久が原に移転
- ・1939年5月 社会事業法による認可を受け「聖フランシスコ子供寮」と改名
- ・1948年8月 児童福祉法による養護施設として認可
- ・1958年5月 社会福祉法人お告げのフランシスコ姉妹会 設立認可
- ・1993年9月 鉄筋コンクリート3階建て新築落成 6ユニットに分かれて生活
- ・1997年 自立援助事業開始
- ・2008年12月 女子自立の家「エリザベト寮」完成
- ・2010年6月 男子自立の家「ヨゼフ寮」完成